



2018年問題にも有効な アウトソーシングって何？ 人材派遣とはどう違う？

アウトソーシングの活用法

人材派遣とセットで耳にすることの多いアウトソーシング。両者は外部の力を借りるという点では同じですが、活用法については色々違いがあります。また、アウトソーシングは2018年問題に有効な側面もあります。今回はアウトソーシングについて、人材プロオフィスキャラクターの「プロ子女史」を先生として、枚方つーしんキャラクター「ぼしこくん」と一緒に、会話形式で考えていくことにしましょう。

ぼしこ (以下:ぼ) 「早いもんで2018年やね。2018年問題ってずつと言うてたから感慨深いわあ」
 プロ子 (以下:プ) 「人プロつーしんでは2018年問題について早くから取り上げてきたからね。ところで、どうい問題だったかモチロン覚えてるわよね？」
 ぼ 「もつ…もちろん覚えてるけど、ここはプロ子ちゃんに任せろわ。生徒が優秀すぎるとオモロくないやろ？」
 プ 「相変わらず面倒くさいヤツね…。じゃあ改めて2018年問題をおさらいしておく？」

・2012年の労働契約法の改正 ↓ 2013年4月1日以降に有効労働契約を締結・更新した場合は5年後にあたる2018年4月1日から有期契約社員は無期契約への無期契約への転換を申し入れることができるようになる。

・2015年の労働者派遣法の改正 ↓ 派遣社員の派遣期間の制限が見直され、派遣社員は個人単位で3年までとなり、その最初の期限が2018年9月末となる。

アウトソーシングとは？
 ぼ 「そもそも、アウトソーシングってどういう意味なん？」
 プ 「直訳すれば、外部(アウト)からの調達(ソーシング)ってことね」



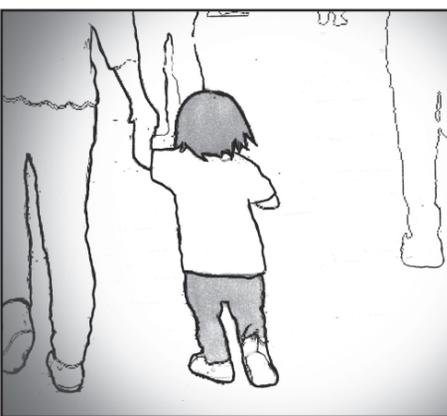
ぼ 「簡単に言うと、派遣先の会社が業務の指示ができるのが『人材派遣』で、業務の指示ができないのが『アウトソーシング』ってことか」
 プ 「その通りよ。例えば営業のスタッフが欲しい時は、直接指示したいから『人材派遣』を利用して、決まった事務的なことを任せたい場合は『アウトソーシング』を利用する…というように、使い分けている会社もあるわ」

ぼ 「なるほど。業務の一部を外部に任せると、『アウトソーシング』っていうイメージやとわかりやすいかもね」
 プ 「ところでこのアウトソーシングが2018年問題とどう関係するん？」
 ぼ 「派遣の契約期間制限の3年のところね。対策としては『無期雇用』という方法であれば3年を超えて派遣の利用はできるけど、アウトソーシングには契約期間制限がない、社員管理や社員教育

活用することで、契約期間の制限や業務の効率化もはかれそうやね」
 プ 「その通りよ。わかってきたみたいね」
 ぼ 「こうやってプロ子ちゃんとうまいこと話できるのも、ぼしこくんの人材派遣を活用してることやね」
 プ 「人材派遣してる割に言うこと聞かないから、今年にはアナタの変わりにアウトソーシングも検討中だけだね…」
 ぼ 「え…！ そんな、プロ子先生！」



「面倒だと思うことは、本当は自分が大切だと思ってること」
 ああ、こんなに大切なことを自分ひとりだけのものにしてはいけない。これから就職活動をする後輩に伝えなきゃいけない、もしくはもっともっと多くの人に伝えなきゃいけない、こんな風になってしまふ、私みたいな人を一人でも減らすために！
 本当に伝えたい過去の自分に伝えられないもどかしさから、プロ子は変な心持ちになり、思わず誰か構わずに声をかけて伝えたいような衝動にかられた。プロ子は持ちで空を見上げた。
 ドラマティックに雨が降ってくる訳でも、抜けるような青空でもなく、六割ほどが雲に覆われた空が、頭上にとんより広がっていた。
 明日、私はまた松宮に会うだろうか？
 自分ごとなのに、自分のために人を巻き込んでいくことなのに、他人事だと思いたくって仕方がなかった。
 (つづく)



仕事探すなら
人材プロオフィス
 を要チェック！

人材プロオフィスの求人情報サイト
1111仕事ドットコム

人材派遣とは…
 派遣元会社(人プロ)が労働者派遣契約を結んでいる派遣先会社から依頼され、スタッフを派遣し業務するもの。派遣社員への業務上の指示は、「派遣先会社の担当者より」行われる

アウトソーシングの活用
 ぼ 「ところでこのアウトソーシングが2018年問題とどう関係するん？」
 プ 「派遣の契約期間制限の3年のところね。対策としては『無期雇用』という方法であれば3年を超えて派遣の利用はできるけど、アウトソーシングには契約期間制限がない、社員管理や社員教育

活用することで、契約期間の制限や業務の効率化もはかれそうやね」
 プ 「その通りよ。わかってきたみたいね」
 ぼ 「こうやってプロ子ちゃんとうまいこと話できるのも、ぼしこくんの人材派遣を活用してることやね」
 プ 「人材派遣してる割に言うこと聞かないから、今年にはアナタの変わりにアウトソーシングも検討中だけだね…」
 ぼ 「え…！ そんな、プロ子先生！」

「前回のあらすじ」就職活動中のプロ子は大学の就職支援センターの松宮から現実を引き戻される言葉を受けて…

大学の就職支援センターを出て、一人暮らしの部屋に向かうプロ子には、目に映る風景がまるで映画のワンシーンのように見えていた。
 幼い子どもの手をひいて歩くお母さん、足早に歩く中年のサラリーマン風の男、手押し車を手かけながら道端でおしゃべりするおばあちゃんたち、植え込みに咲く名前も知らない花まで、すべてが美しく尊いものに見える。
 そして、私が見えている世界に私はいない。何を生きてきたんだろう？ 何を生きていくんだろう？ これまで考えなければ思っていたながら、面倒がついて避けていたことだ。思い返せば、これほど面倒がついていないことは、自分でも、避けられない、重要な問題だとわかってきたことなんだと、プロ子は今さら気がついた。

プロ子の野望